

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和04年02月03日

計画の名称	岡山県における港湾利用者にとって安全で使いやすい港づくり計画（防災・安全）												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	岡山県												
計画の目標	安全で使いやすい港づくりを推進するため、港湾施設の機能性・安全性の向上を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,243	A	3,243	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画的成果目標（定量的指標） 定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	水域施設の施設改良率 [0% (R2年度) →100% (R6年度)] 要素事業となっている各施設について、事業内容数量の実施完了 対象施設のうち、埋没対策が図られた施設/埋没対策が必要な施設	0%	30%	100%
2	利用形態にあった施設改良率 [0% (R2年度) →100% (R6年度)] 要素事業となっている各施設について、事業内容数量の実施完了 対象施設のうち、機能向上済施設/機能向上対策が必要な施設	0%	50%	100%
3	港湾施設の安全性向上に資する施設改良率 [0% (R4年度) →100% (R6年度)] 要素事業に含まれる各施設について、事業内容数量の実施完了 対象施設のうち、安全性向上済施設/安全性向上が必要な施設	0%	0%	100%
4	災害時に利活用可能な緑地整備率 [0% (R4年度) →100% (R6年度)] 要素事業となっている施設について、事業内容数量の実施完了 対象施設のうち、整備済施設/整備が必要な施設	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	<input type="checkbox"/>	連携中枢都市圏を含む	<input type="checkbox"/>	流域水循環計画を含む	<input type="checkbox"/>	地域再生計画を含む	<input type="checkbox"/>
岡山県国土強靱化地域計画に基づき実施される要素事業：A02全て												

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-001	港湾	一般	岡山県	直接	岡山県	地方	改良	泊地（-4.0m）浚渫	浚渫土量 V=30,000m3	東備港日生地区	■	■	■	■	■	228	策定済	
	A02-002	港湾	一般	岡山県	直接	岡山県	地方	改良	航路（-5.5m）浚渫	浚渫土量 V=50,000m3	東備港片上航路	■	■	■	■	■	495	策定済	
	A02-003	港湾	一般	岡山県	直接	岡山県	重要	改良	航路②（-5.5m）浚渫	浚渫土量 V=4,000m3	岡山港岡山航路	■					30	策定済	
	A02-004	港湾	一般	岡山県	直接	岡山県	重要	改良	泊地②（-5.5m）浚渫	浚渫土量 V=13,500m3	岡山港高島泊地	■					135	策定済	
	A02-005	港湾	一般	岡山県	直接	岡山県	拠点	改良	幹線臨港道路（舗装改良）	延長 L=260m	水島港玉島地区		■				17	策定済	
	A02-006	港湾	一般	岡山県	直接	岡山県	拠点	改良	航路（-4.0m）浚渫	浚渫土量 V=80,000m3	水島港乙島東航路	■	■	■	■	■	459	策定済	
	A02-007	港湾	一般	岡山県	直接	岡山県	拠点	改良	泊地（-7.5m）浚渫	浚渫土量 V=100,000m3	水島港玉島4号泊地	■	■	■	■	■	500	策定済	
	A02-008	港湾	一般	岡山県	直接	岡山県	地方	改良	航路（-3.0m）浚渫	浚渫土量 V=50,000m3	笠岡港笠岡航路	■	■	■	■	■	300	策定済	

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-009	港湾	一般	岡山県	直接	岡山県	地方	改良	小型船係留施設改良	浮棧橋 N=40基	牛窓港牛窓地区		■	■	■	■	300	策定済	
	A02-010	港湾	一般	岡山県	直接	岡山県	拠点	改良	高島臨港道路（舗装改良 ）	延長 L=1, 380m	水島港高島地区	■					25	策定済	
	A02-011	港湾	一般	岡山県	直接	岡山県	拠点	改良	棧橋（- 14. 0m）改良	棧橋 N=1基	水島港水島地区			■	■	■	240	策定済	
	A02-012	港湾	一般	岡山県	直接	岡山県	拠点	建設	緑地整備	緑地 A=2. 1ha	水島港玉島地区			■	■		80	—	
	A02-013	港湾	一般	岡山県	直接	岡山県	重要	改良	岸壁（- 12. 0m）改良	延長 L=480m	宇野港田井地区			■	■	■	200	策定済	
A02-014	港湾	一般	岡山県	直接	岡山県	地方	改良	放置小型艇収容緊急整備 事業	係船環 N=284箇所	東備港鶴海地区			■	■	■	36	策定済		
A02-015	港湾	一般	岡山県	直接	岡山県	地方	改良	放置小型艇収容緊急整備 事業	係船環 N=317箇所	牛窓港牛窓地区			■	■	■	41	策定済		

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
港湾事業	A02-016	港湾	一般	岡山県	直接	岡山県	重要	改良	放置小型艇収容緊急整備事業	係船環 N=377箇所	岡山港九幡地区			■	■	■	48		策定済	
	A02-017	港湾	一般	岡山県	直接	岡山県	重要	改良	放置小型艇収容緊急整備事業	係船環 N=229箇所	宇野港長崎地区			■	■	■	29		策定済	
	A02-018	港湾	一般	岡山県	直接	岡山県	拠点	改良	放置小型艇収容緊急整備事業	係船環 N=393箇所	水島港玉島地区			■	■	■	50		策定済	
	A02-019	港湾	一般	岡山県	直接	岡山県	地方	改良	放置小型艇収容緊急整備事業	係船環 N=235箇所	笠岡港神島外浦地区			■	■	■	30		策定済	
												小計						3,243		
												合計						3,243		

事前評価チェックシート

計画の名称： 岡山県における港湾利用者にとって安全で使いやすい港づくり計画（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
① 上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性	
1) 計画の目標が上位計画と整合している	○
I. 目標の妥当性	
2) 港湾計画と整合している	○
I. 目標の妥当性	
② 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性	
1) 地域の課題を踏まえて計画の目標が設定されている	○
II. 計画の効果・効率性	
① 整備計画の目標と定量的指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている	○
II. 計画の効果・効率性	
② 定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性	
1) 指標・数値目標がわかりやすいものとなっている	○
II. 計画の効果・効率性	
③ 目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性	
1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている	○
II. 計画の効果・効率性	
④ 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	
II. 計画の効果・効率性	
1) 事業内容は計画の目標を達成する上で適切なものとなっている	○
II. 計画の効果・効率性	
2) 十分な事業効果が得られることが確認されている	○
II. 計画の効果・効率性	
3) 事業効果は数値・指標等を用いて客観的に示されている	○

事前評価

チェック欄

III. 計画の実現可能性 ① 円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 関係機関との調整を行い理解が得られている	○
III. 計画の実現可能性 ② 地元の機運	
III. 計画の実現可能性 1) 利用者や地元関連企業・地元自治体等からの要請がある	○